

平成27年度第1回中小企業地域懇話会での主な意見について

資料2-1

○県内6地域(振興局単位)で、地域の中小企業経営者等と商工労働部職員による意見交換を実施。

テーマ:人口減少社会における労働力不足問題について

地域	対象市町村	開催日	参加企業数
中部	大分市、臼杵市、津久見市、由布市	9月11日	10
北部	中津市、豊後高田市、宇佐市	9月16日	8
南部	佐伯市	9月15日	9
東部	別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町	9月18日	8
豊肥	竹田市、豊後大野市	9月7日	10
西部	日田市、九重町、玖珠町	9月10日	14
計			59

○主な意見等については下記のとおり。

項目	主な意見	業種	地域
人材確保全般	年度末等に忙しくなると休日対応が出てくる等の理由により、若い人の定着率が低い。	建設業	西部
	若い人は続かない。給料より休日が欲しいようだ。	塗装業	中部
	早めの帰宅を徹底したら定着率が向上している。	小売業	南部
	ハローワークや農業系ホームページで求人を行っているが反応がない状況。県からも県内企業のPRをして欲しい。	農業	豊肥
	若い人に素敵な業種だと思ってもらえるようにしたい。	製造業(造船)	南部
	小売業でも発信力のある企業は人気がある。	小売業	南部
	会社の理念に共感する人たちが口コミで集まってくる。	専門・技術サービス業	北部
	ハローワーク、県、市など人材確保の仕組みを一元化すべき。	小売業	中部

項目	主な意見	業種	地域
	人材確保のために事業所間で人材を融通し合う必要がある。	介護事業	北部
	高校が地元の企業が人材を求めているという状況を理解していない。	小売業	南部
高齢者雇用について	高齢の従業員を社内グループ化し、自由なペースで仕事をしてもらっている。	電気工事業	西部
	65歳以上の社員が3人。週3日の勤務にしている。	道路貨物運送業	西部
	60代の社員がいるが、親の介護で休暇を取得することが多い。	小売業	西部
	60代以上の販売員が半数。84歳の女性が最高齢で活躍している。	小売業	中部
	パートが85%だが、なるべく長く勤めてもらうようにしており、最終的には65歳以上でパート店長という形もある。	小売業	南部
	社員の平均年齢は60歳超、70歳を超えた社員もいる。深夜運転が1つの課題。	道路旅客運送業	豊肥
外国人労働者について	フィリピンからの研修生を数名雇用。熱心に仕事をしてくれるので今後も積極的に雇用したい。	製造業	南部
	外国人研修生が重機などの運転(資格が必要)ができるようになるとういのだが。	農業	豊肥
	外国人採用には作業標準書の外国語対応など課題がある。	製造業	北部
	以前フィリピン人や中国人を雇ったが、意思疎通がうまくできないので接客は難しい。	宿泊業	西部
	記録作成業務に言語の壁。資格取得も難しい。しかし、外国人研修制度の対象業種になれば力を入れるべき。	介護事業	北部
	言葉と地理案内が課題だがITによる解決に期待。	道路旅客運送業	豊肥
	県には県内企業への就職や外国企業との連携等でAPUとのクッション役を期待。	生活関連サービス業	豊肥

項目	主な意見	業種	地域
UIJターンについて	Uターンで2名採用し、貴重な戦力になっている。	製造業	東部
	東京の人は大分を観光地とは見ても働く場としては見ないのではないか。	飲食業	北部
	家賃が高いことや理系の仕事がないことが課題。	専門・技術 サービス業	豊肥
	UIJターンはお金だけでなく、人海戦術が効果的では。	飲食業	東部
生産性向上について	下請け中心から、自社開発へと転換。機械化と外製化が生産性向上のカギ。	製造業	東部
	下請けをやめて利益率が向上。社員のやる気もアップした。	製造業	南部
	コスト削減が生産性向上ではあるが、よい質の食材を使えば1杯1000円で売れるジュースもある。価格競争では大手に勝てない。	飲食業	北部
	顧客分析などのデータ活用や高齢者向けサービスが重要になってくる。	小売業	中部
	ネット販売などで全国に向け販路を拡大したい。	小売業	北部
	ロボット化を進め1人の人が多様な仕事をできるようにしている。	小売業	中部
	従業員満足度をあげることが生産性の向上につながると考えている。	飲食業	東部
その他	近隣企業とも連携して子どもを預けられる環境整備を模索中。	製造業	中部
	補助金などの施策情報が隔々にまで伝わっていない。	製造業	東部 北部